

(記者発表資料)



令和5年度当初予算(案) の概要

【まちの未来像】

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

与謝野町

令和5年度予算について

「ともに創る与謝野」を実現する

～ 住民とともにポストコロナ社会を創る ～

令和5年度一般会計予算について

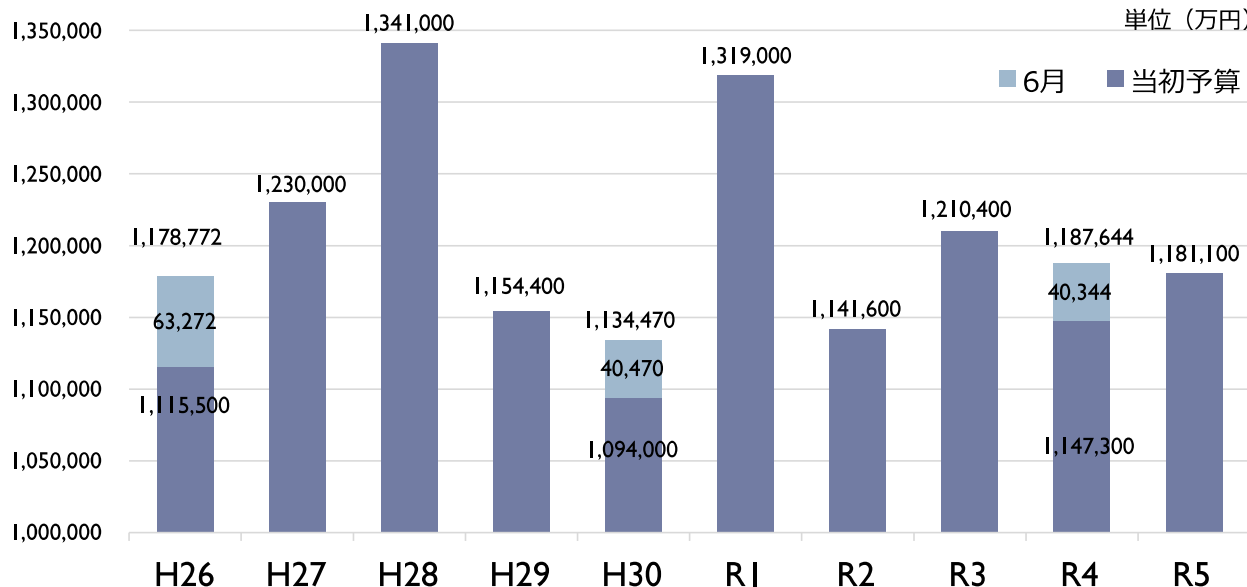
令和5年度一般会計予算 118億1,100万円

令和4年度6月補正後予算との比較：6,544万円減（▲0.6%）

<グラフの補足説明>

H26・H30・R4年度は骨格予算と
6月補正後予算額を表記

単位（万円）



予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

一般会計・特別会計（8会計）・水道事業会計の

➡ **予算総額 204億4,723万円**

対令和4年度6月補正後予算との比較：▲1.9%（3億9,817万円減） 単位（万円）

会計別	令和5年度当初	令和4年度6月補正後	増減率（%）
一般会計	1,181,100	1,187,644	▲0.6
宅地造成事業特別会計	6,671	7,102	▲6.1
下水道特別会計	157,940	163,930	▲3.7
農業集落排水特別会計	2,956	2,985	▲1.0
介護保険特別会計	289,940	289,688	0.1
土地取得特別会計	38	38	0.0
国民健康保険特別会計	227,580	233,430	▲2.5
後期高齢者医療特別会計	36,660	36,830	▲0.5
財産区特別会計	21,896	9,651	126.9
水道事業会計	119,942	153,112	▲21.7
特別会計・水道事業会計合計	863,623	896,896	▲3.7
予算総額	2,044,723	2,084,540	▲1.9

▶ 3

令和5年度主要事業

山添町政3期目に掲げた「未来への展望」

1. 新型コロナウイルス感染症から命と生活を守る
2. 経済成長を実現する
3. 多様な交流を実現する
4. 安心安全を実現する
5. 与謝野力の向上を実現する
6. 持続可能な環境を実現する
7. 前向きな町役場を実現する

整合



「第2次総合計画の7つの分野別方針」

- 人・自然・伝統・新たな未来
- 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち
 - 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち
 - みんなが自分らしく幸せに生きるまち
 - つながりで笑顔を未来につむぐまち
 - 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち
 - 美しく住みやすい安心安全なまち
 - 住民が主人公となるまち

「未来への展望」の7つの基本政策は、第2次総合計画に掲げる与謝野町が目指す未来像

「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」との整合を図り、まちづくりを推進します。

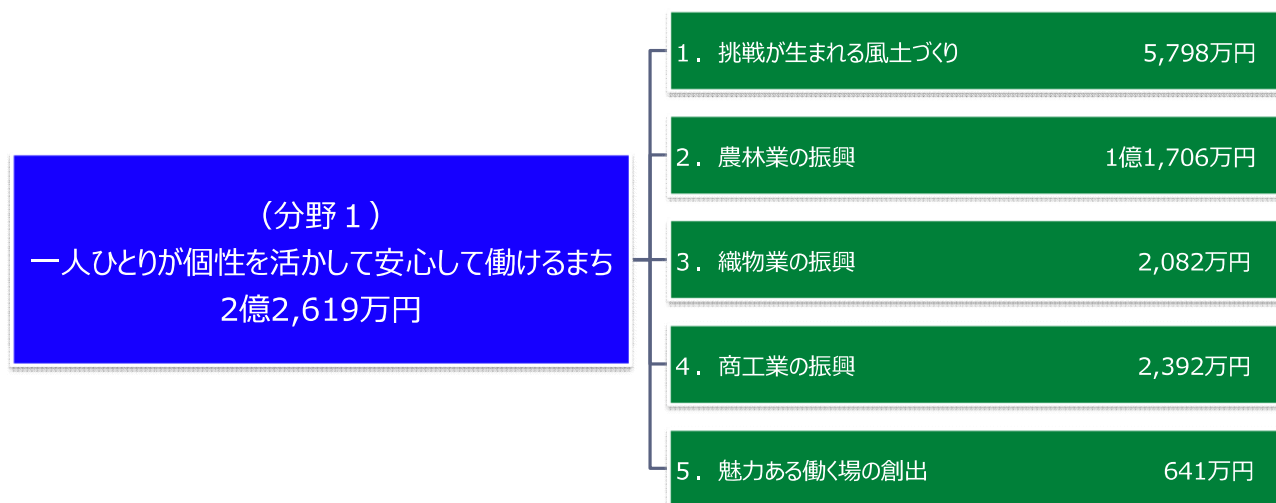
▶ 4

第2次後期基本計画と予算

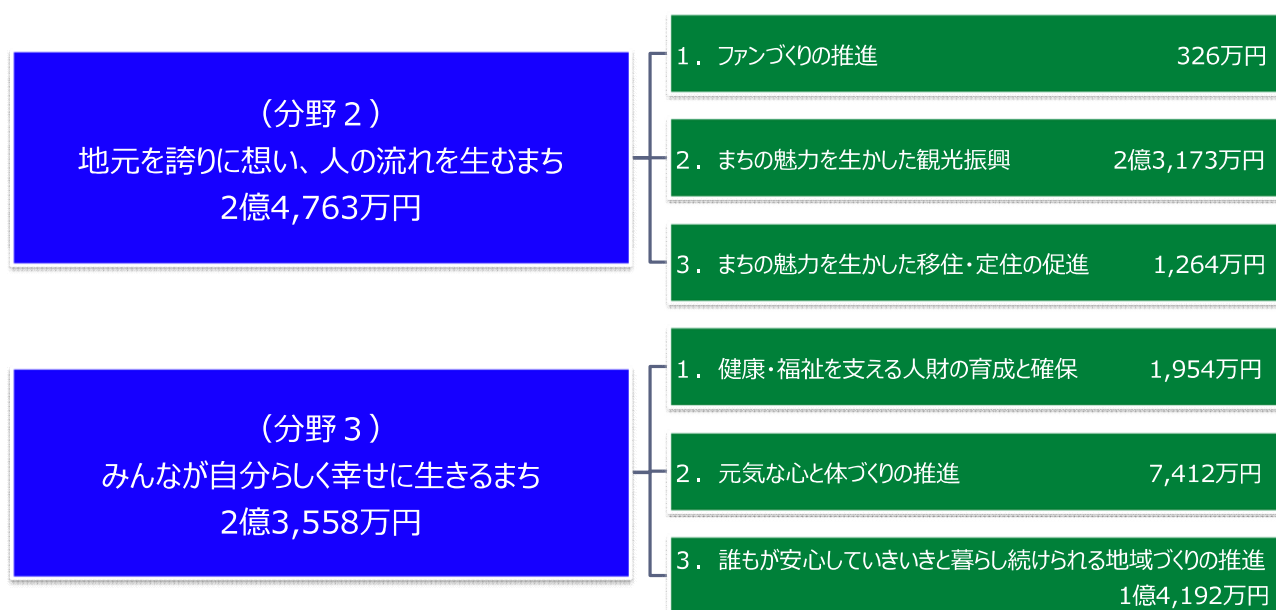
第2次総合計画後期基本計画では「実施計画」を作成します。

実施計画は、基本計画において定めた基本施策に基づき、具体的な事業（予算化した事業、予算化を見込む事業）を定めるものです。

【令和5年度当初予算 各分野別予算額】



第2次後期基本計画と予算



第2次後期基本計画と予算

(分野4)
つながりで笑顔を未来につむぐまち
3億6,915万円

1. 新たな命の誕生を応援 7,923万円

2. 親子の笑顔の暮らしを応援 2億6,872万円

3. 地域ぐるみの子育て力の向上 2,120万円

(分野5)
魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち
8億6,609万円

1. 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成 3,758万円

2. 一人ひとりを大切にする環境づくり 6億3,523万円

3. 生涯学習社会の実現と人権教育の推進 6,687万円

4. 生涯スポーツ社会の実現 1億462万円

5. 文化財の継承と活用 2,179万円

第2次後期基本計画と予算

(分野6)
美しくて住みやすい安心安全なまち
20億1,326万円

1. 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり 2億3,173万円

2. 安心・安全に暮らせる地域づくり 8億7,716万円

3. 快適で暮らしやすい生活環境づくり 9億437万円

(分野7)
住民が主人公となるまち
2億515万円

1. 多様な主体による協働のまちづくりの推進 1,826万円

2. みんなが互いに認め合う風土づくり 1,898万円

3. 未来を見据えた行財政運営 3,515万円

4. 見える・聞こえる・言えるまちづくり 1億3,276万円

令和5年度主要事業

(分野1)一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち

産業振興事業(①挑戦が生まれる風土づくり)

1,443万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	■産業振興に係るホームページ作成 町の産業に関する情報や、特産品の紹介などを中心とした産業振興に特化したホームページを制作する。また、ふるさと納税強化のため、紹介する特産品とふるさと納税返礼品のページを繋げることにより事業者の所得向上を図る。 ・産業振興ホームページ制作業務委託料	80	商工振興課
新規	■持続可能な地域産業育成事業 地方自治体が三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る「地域活性化起業人制度」を活用し、企業誘致、地産地消、情報発信交流促進などの課題に対し、地域活性化起業人が発案・提案する事業を展開する。 ・持続可能な地域産業育成事業委託料ほか	764	
継続	■クラウドファンディング活用ビジネス応援事業 町内の中小企業・小規模企業等が新たに計画する、持続可能な地域経済の構築と課題解決に資する事業を、町のクラウドファンディング型ふるさと納税制度を使った資金調達を活用して実施する場合に、事業費の一部に対し補助金を交付する。 ・クラウドファンディング活用ビジネス応援事業補助金	230	

9

令和5年度主要事業

企業立地推進事業(①挑戦が生まれる風土づくり)

2,783万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	■企業立地推進事業 与謝野町企業立地促進条例に基づき町内への企業立地を促進する。また、奨励事業所に指定した誘致企業等に対し条例の奨励措置により支援を行う。 ・企業立地促進奨励金 ・企業立地促進助成金 ・企業立地雇用奨励金 ・企業立地利子補助金	110 2,000 350 295	商工振興課 (国:1/2) (国:1/2) (国:1/2)

森林整備事業(②農林業の振興)

400万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	■与謝野町森林経営管理意向調査実施計画作成 森林環境譲与税を活用した計画的な森林整備を実施していくため、与謝野町内の手入れのいきていない民有林を調査した上で、整備箇所及びその優先順位等を明らかにするための実施計画を作成。	400	農林課 (税:10/10)

10

令和5年度主要事業

自然循環農業関連事業・有機物供給施設管理運営事業 (②農林業の振興)

5,087万円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	令和5年度の組織体制変更により、農林環境課に設置される「地球温暖化対策室」において脱炭素社会実現、自然環境保全、再資源化等の取り組みを実施していくこととしている。 引き続き町独自の取り組みである京の豆っこを中心とした自然循環農業等、環境負荷の少ない農業を推進することで、当町の稲作を中心とする農文化と美しい農地を守りつつ、農業が持続可能な産業として発展するための施策をすすめるとともに、当町の取り組みをより知っていただくために、与謝野町農業ポータルサイト「YOSANO AGRICYCLE」の充実や自然循環農業のPR看板の設置等を通じ対外的な発信を強化する。 ■自然循環農業推進事業 ・循環型農業推進事業委託料 ・農林業振興事業費補助金 ■有機物供給施設管理運営事業	1,183 559 393 3,904	農林課 (国：1/2) (国：1/2) (国：1/2 (一部経費を除く))

令和5年度主要事業

織物振興対策事業(③織物業の振興)

2,194万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	基幹産業である織物業及びその関連産業の持続可能な産地形成を目指し、各種施策を横断的に展開する。 ■和装振興事業 和装文化の普及及び丹後織物工業組合が実施する新商品開発、販路開拓などの取組みなどに支援を行う。 ・絹織物等需要開拓展開推進事業費補助金ほか	184	(国：1/2)
継続	■織物生産基盤支援事業 織機等の維持補修の経費負担軽減、新たな設備投資による事業拡大に加え、持続可能な産地形成に資する内製化の取組みなどに支援を行う。 ・織物織機調整等支援事業補助金	150	(国：1/2)
継続	・織物業生産基盤支援事業補助金	300	(国：1/2)
継続	・テキスタイル産地化事業補助金	500	(国：1/2)
継続	・織物業小規模生産基盤支援事業補助金	60	(国：1/2)
新規	・織物業内製化支援事業補助金	650	(国：1/2)
継続	■織物人材確保事業 与謝野町織物技能訓練センターを拠点に、力織機及び手織の織物職人の養成プログラムを展開し、織物業界の課題である担い手不足の解消を目指す。 ・織物職人養成プログラム企画運営業務委託料	350	(国：1/2)

令和5年度主要事業

(分野2) 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

国際交流事業(①ファンづくりの推進)

273万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	第2次世界大戦をきっかけに友好交流を続けている、英国のアベリスツイスとの高校生相互派遣事業の再開(与謝野町高校生団の派遣)。 アベリスツイス大学の連携事業(英語によるコミュニケーション能力向上プログラム)への町民の参加補助。	253 20	観光交流課

加悦生産物販売施設管理運営事業 (②まちの魅力を生かした観光振興)

681万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
拡充	加悦生産物販売施設は、与謝野町等で生産される生産物等の販売を通して消費者との交流を図るとともに、生産者の所得向上と地域振興に資することを目的として設置され、道の駅としての機能も持っていることから、町内外から多くの方が来館される施設となっている。 現在は地元農業団体に施設の一部を貸付けし、観光情報等の発信については与謝野町観光協会に業務を委託しているが、令和5年度から指定管理者制度を導入し、地域、生産者との更なる連携を図っていく。 ・指定管理料	629	観光交流課

13

令和5年度主要事業

観光地域づくり支援事業 (②まちの魅力を生かした観光振興)

2,311万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	■海の京都DMO与謝野地域本部事業 町の観光推進事業の根幹を担う与謝野町観光協会の組織強化を図り、事務・事業執行の体制強化及びまちづくり観光を基軸とした「観光地域づくり」「体験プログラムづくり」を中心に、海の京都エリアにおける与謝野町独自の滞在型交流の仕組みを構築し、海の京都DMO本部及び各地域本部との連携をもとに、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。 ・与謝野町観光協会補助金	1,640	観光交流課 (一部国：地方創生)
継続	■海の京都広域連携事業 海の京都DMOが行う体験プログラムの造成や国内外でのプロモーションなど、海の京都事業も年々進展している中、地域住民や観光事業者との連携構築を図る。 ・海の京都DMO広域観光推進事業費負担金	413	(一部国：地方創生)
新規	■地域力創造アドバイザーの活用 地域力創造アドバイザーを招聘し、与謝野町観光協会と連携して町内に潜在する魅力的なヒト・モノ・コトの発掘、コーディネートを行い、本町が旅の目的地となるような観光コンテンツの造成・発信をしていく。	75	

14

令和5年度主要事業

移住定住支援事業 (③まちの魅力を生かした移住・定住の促進)				1,258万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)	
	■空き家改修支援事業 ・空き家店舗等活用支援事業補助金 ちりめん街道内にある、町の空き家バンク登録物件を購入し新規出店する場合、屋内改修費用を対象経費の1/2、最大180万円補助する。 ・移住促進補助金 移住促進特別区域内 (空き家改修) 180万円×2件 (流動化促進) 10万円×2件 移住促進特別区域外 (空き家改修) 90万円×2件 ■移住定住促進事業 ・子育て世帯移住定住促進事業補助金	740 (180) (560) 518 (280)	観光交流課 (一部国：地方創生) (府：1/2) (一部国：地方創生)	

令和5年度主要事業

(分野3) みんなが自分らしく幸せに生きるまち

介護人材育成・確保支援事業 (①健康・福祉を支える人財の育成と確保)				216万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)	
継続	■介護福祉士修学資金貸与事業 介護人材不足が深刻化する中、本町で介護福祉士の業務に従事しようとする者に対し、修学に要する資金を貸与することにより本町における介護福祉士を確保していくもの。 @60万円×2人分	120	福祉課	
拡充	■外国人介護人材確保のための住宅費支援事業 本町における介護人材の確保を図るため、外国からの介護人材の確保を行う法人に対し、外国人が居住する住宅費の一部を補助するもの。 @1万円×12月×8人			
				96

地域医療人材確保事業 (①健康・福祉を支える人財の育成と確保)				679万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)	
拡充	地域医療体制の確保・充実を目的に京都府北部地域の中核病院である京都府立医科大学附属北部医療センターの質の高い病院機能を確保するため、医療人材の確保を支援する。(宮津市・伊根町・与謝野町の協働事業) (継続) 奨学資金貸付金負担金 (新規) 奨学金返済支援負担金	589 90	保健課	

令和5年度主要事業

食生活改善推進員協議会支援事業 (②元気な体づくりの推進)

16万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	地域住民にとって身近な存在である食生活改善推進員は、食からの健康づくりを推進し、生涯を通じた食育の推進や健康づくり等の活動を行っている。近年では会員の減少が続く中、活動を積極的に推進する必要があることから、そのリーダーとなる人材を育成するため養成講座を開催する。 ・食生活改善推進員養成講座	16	保健課

予防接種助成事業(②元気な体づくりの推進)

48万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	子宮頸がん予防接種は、平成25年度に定期接種に位置付けられたが、その後まもなく積極的接種勧奨が差し控えられることとなり、令和3年11月に接種勧奨の差し控えが終了した。接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方で定期接種の対象年齢を過ぎて自費で子宮頸がん予防接種を受けられた方に接種費用の助成を行う。 ・子宮頸がん予防接種助成金	48	保健課

令和5年度主要事業

DV被害者等支援事業、児童虐待・DV対策事業 (③誰もが安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくり)

36万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	■ DV被害者等支援事業 DV被害者の避難支援に加え、DV被害申立書の作成支援、申し立て費用の助成を行う。	18	福祉課
継続	・DV被害者等支援費	(9)	
継続	・DV被害者緊急一時保護委託料	(4)	
新規	・DV保護命令申立て支援補助金	(5)	
継続	■ 児童虐待・DV対策事業 虐待ホットラインの開設、要保護児童対策調整機関担当者研修に係る費用を計上。	27	子育て応援課 (国：1/2)

障害者就労応援事業

(③誰もが安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくり)

278万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	就労継続支援事業所を運営する社会福祉法人等に対して、町所管施設等の清掃や草刈り業務等を委託し、障害のある方の職業能力の向上、将来の企業等への就職に向けたステップアップ及び工賃アップを目指す。 ・障害者就労応援事業委託費	278	福祉課

令和5年度主要事業

高齢者福祉施設整備助成事業

(③誰もが安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくり)

4,030万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	社会福祉法人等の3事業者に対して、京都府地域密着型サービス等整備等助成事業補助金を活用し、小規模多機能介護施設開設準備支援及びICT導入支援を行う。 ・地域密着型サービス等整備等助成事業補助金 - 小規模多機能介護施設開設準備（2事業所） - ICT導入支援（1事業所）	1,510 2,520	福祉課 (府:10/10) (府:10/10)

屋外空間の整備

(③誰もが安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくり)

478万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	ポストコロナ社会での子どもたちの遊び場・居場所となりうる野田川森林公園の設備を充実させるため、大型木製遊具、木製テーブル・ベンチ等の修繕のほか、新たにスプリング遊具を設置する。 ・野田川森林公園修繕料・遊具設置工事	478	観光交流課

令和5年度主要事業

(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち

子育て世代包括支援センター事業(①新たな命の誕生・②親子の笑顔の暮らしを応援・③地域ぐるみの子育て力の向上)

3,509万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	妊娠・出産・就学前、就学後の子育てにおける切れ目のない支援として、子育て家庭に母子保健施策と子育て支援施策の両面から一体的な支援の提供を行う。 ■ 出産・準備応援金給付事業 令和4年度『出産・準備応援金給付事業』を開始。 (妊娠24週以降の妊婦、おなかの赤ちゃん1人あたり10万円) 令和5年度も継続して実施する。(10万円×90名) ■ 出産・子育て応援交付金事業 令和4年度国の補正予算で実施開始。 【伴走型相談支援】 ・妊娠届出時 ・妊娠8か月前後 ・出生届出後のタイミングで、子育て世代包括支援センター保健師等による面談を実施し、必要な支援につなぐ。 実施中の相談事業、ハローベビープロジェクト、産後リフレッシュ事業を更に充実させる。 【経済的支援：出産・子育て応援ギフト】 伴走型相談支援を受けた妊産婦、養育者に、妊娠時、出産後の2回、10万円(5万円×2回)の経済的支援を実施する。 当面現金給付とするが、京都府において電子クーポン発行、システム構築に向け、電子クーポンプラットフォーム構築準備が進められている。 (5万円×2回×90名)	1,800 (900) (900)	子育て応援課 (国:2/3) (府:1/6)

令和5年度主要事業

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■ハローベビープロジェクト事業 妊婦とその配偶者(未婚の場合は、パートナー或いは妊婦のみ)と面接し、産前、産後の役割分担を明確にし、親子ともに安心して過ごせるハローベビー計画書を作成することで、育児についての孤独感の軽減を図るとともに、産前産後の切れ目のない支援を実施する。 ・記念品(離乳食器等)・運搬料	101	子育て応援課
継続	■特定不妊治療交通費補助金 妊娠を望む夫婦が積極的な不妊治療に臨めるよう、高額な自己負担が必要となる特定不妊治療の申請者について、その治療にかかる交通費の一部を助成することにより、経済的・精神的負担の軽減を図る一助とする。 ・特定不妊治療交通費助成金	40	子育て応援課 (一部府：1/2)
継続	■新生児聴覚検査委託料・助成金 聴覚障害の早期発見及び適切な支援は、音声言語発達等への影響を最小限に抑えることができるため、新生児聴覚検査は重要な検査とされている。 与謝野町は平成30年度から府内でいち早く新生児聴覚検査助成を実施していたが、近年京都府との調整により、京都府医師会に委託可能となったため、検査の委託料を計上するとともに、里帰り出産をされる方に対しては、助成金を支給する。 ・新生児聴覚検査委託料 ・新生児聴覚検査費用助成金	25 3	子育て応援課

令和5年度主要事業

地域生活支援事業(②親子の笑顔の暮らしを応援)			115万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	■保育所・こども園・小・中学校巡回相談事業 発達の気になる子どものアセスメント、行動観察、発達検査等により、課題を明確化し、発達の気になる子どもへの支援及び現場支援者の技術向上につなぐ。心理発達の専門である相談員による保育所・こども園の巡回に加え、医師による巡回を行う。訪問先も小・中学校まで拡大する。	115	子育て応援課 (国：1/2) (府：1/4)
キッズステーション事業(③地域ぐるみの子育て力の向上)			240万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	地域ぐるみで子育てをする取り組みの一つとして、キッズステーション事業をさらに拡げる支援を進める。 ・キッズステーション事業費補助金 600千円×4ヵ所	240	子育て応援課 (国：1/2)

令和5年度主要事業

家庭支援事業

(②親子の笑顔の暮らしを応援・③地域ぐるみの子育て力の向上) 1,191万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■ひとり親家庭住居費支援 公営住宅の入居を希望したが、入居できなかったため民間の借家に暮らすひとり親家庭からの申請により、民間借家と公営住宅の家賃の差額相当について、月額15千円、12月を上限として支援する。併せて支援実施期間中に公営住宅等募集等に関する情報提供等、住居に関する相談に応じる。 ・ひとり親家庭住宅費支援給付金	27	子育て応援課
継続	■ひとり親家庭養育費確保支援 養育費の取決めに要した経費のうち、弁護士に依頼した公正証書等作成手数料、公証人手数料、家庭裁判所の調停申立てに要する収入印紙代及び郵便切手代について、50,000円を上限とし、補助する。 ・ひとり親家庭養育費確保支援補助金	25	子育て応援課
継続	■ファミリーサポートセンター事業 子育て中の家庭（会員）が仕事や急用で子どもの世話ができないとき、臨時的に地域の人（会員）が子育てを応援する会員同士の相互援助組織として、ファミリーサポートセンターを設置する。 ・ファミリーサポートセンター委託料	250	子育て応援課 (国:1/3) (府:1/3)

▶ 23

令和5年度主要事業

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■家庭自立支援（学習・生活支援）事業 子どもの貧困対策・貧困の連鎖を断つことに重点を置き、京都府との連携により学習支援・生活支援を実施。週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施。 ・学習生活支援委託料	260	子育て応援課

(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

学校教育振興事業(町教育研究会補助金)

(②一人ひとりを大切にする環境づくり)

240万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	■文化芸術による児童生徒育成事業 質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による演劇的手法を用いたワークショップ等を実施することにより、子どもたちの豊かな創造力（想像力）や思考力、コミュニケーション能力などを養う。 ・文化芸術団体等を学校等に招き公演等を鑑賞する。（中学校1校） ・演劇的手法を取り入れた教育プログラムの実践。（小学校3校）	230 (80) (150)	学校教育課

▶ 24

令和5年度主要事業

学校給食費高騰対策事業(歳入)

(②一人ひとりを大切にする環境づくり)

432万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	物価高騰による学校給食の食材費等への影響が、保護者の負担増とならないよう、食材の高騰分を町が負担し、安全安心な学校給食を提供する。	432	学校教育課

学校給食センター施設整備事業

(②一人ひとりを大切にする環境づくり)

2億4,400万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	■給食センター施設整備事業 現給食センター及び岩滝小学校の自校給食調理場は、老朽化が著しいうえに学校給食衛生管理基準に適合していないため、これら課題を解消するとともに食育環境も整えた新給食センターを旧岩屋小学校校舎跡地に整備し、子どもたちに安全で安心して食べられるおいしい給食を提供する。 なお、岩滝小学校の自校給食はセンター給食に移行する。 ・新給食センター建設整備(実施設計費) ・旧岩屋小学校校舎解体工事(実施設計費、工事請負費、工事監理費)	24,400 (4,500) (19,900)	学校教育課

令和5年度主要事業

地域学校協働活動推進事業

(③生涯学習社会の実現と人権教育の推進)

93万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
新規	■地域学校協働活動推進事業 加悦地域においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入を行うため、学校運営協議会委員報酬やコーディネーター謝金等を計上。	93	社会教育課

よさの未来大学各種講座の開催

(③生涯学習社会の実現と人権教育の推進)

230万円

区分	事業概要	事業費	担当課/(財源)
継続	よさの未来大学の地域づくり学部、ビジネス学部、リバラルアーツコースを地域協働推進事業、産業振興事業、社会教育推進事業のそれぞれの事業内で講座を開催。 ●地域づくり学部 講座数：2回程度 ●ビジネス学部 講座数：2回程度 ●リバラルアーツコース 講座数：2回程度	230	企画財政課 社会教育課 商工振興課 (一部国：地方創生)

令和5年度主要事業

(分野6)美しくて住みやすい安心安全なまち

環境活動推進事業

(①地域からはじめる地球にやさしい環境づくり)

175万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■阿蘇海等環境づくり事業 阿蘇海浄化の啓発や清掃、河川の水質検査を行うとともに、流域の環境整備の推進を図るため側溝清掃作業に支援を行う。 ■よさの百年の暮らし委員会事業 「よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）」を主体に、地球温暖化防止や環境保全の啓発事業を実施（グリーンカーテン講習会、環境イベントなど）。	119 56	住民環境課

世界気候エネルギー首長誓約

(①地域からはじめる地球にやさしい環境づくり)

ゼロ予算

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	2015年に多国間で採択された国際的な合意である「パリ協定」の目標達成に向けて、地域から貢献しようとする誓約「世界気候エネルギー首長誓約」に2018年に署名し、温室効果ガスの大幅削減などに取り組む。 本町では、長期目標として「2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロ」を目指しているが、令和5年度からは新たに地球温暖化対策室を設置し、エネルギーの地産地消・気候変動に適応したレジリエント（強靱）な地域づくりなど、積極的な取り組みを進めていく。		住民環境課

▶ 27

地球温暖化対策室の設置

(①地域からはじめる地球にやさしい環境づくり)

ゼロ予算

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	令和5年度の組織体制変更により、農林環境課に設置される「地球温暖化対策室」において、自然環境保全、温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの活用、住民活動への支援など、官民一体となって脱炭素に向けた取り組みを一層強化する。 ■与謝野町森林経営管理意向調査実施計画作成 森林吸収源対策の推進のひとつとして、森林整備をすすめていくこととし、森林環境譲与税を活用した計画的な森林整備を実施していくため、与謝野町内の手入れのいきといていない民有林を調査した上で、整備箇所及びその優先順位等を明らかにするための実施計画を作成。 ■当町の環境の取り組みについての情報発信の強化 地球温暖化対策室が中心となって実施する当町の環境負荷軽減等の取り組みをより知っていただくために、与謝野町農業ポータルサイト「YOSANO AGRICYCLE」の充実や自然循環農業のPR看板の設置等を通じ対外的な発信を強化する。	400 (再掲) 140 (再掲) ※自然循環農業・有機物供給施設管理運営事業（②農林業の振興）	農林課 住民環境課 (税：10/10)

▶ 28

令和5年度主要事業

河川改修事業(②安心・安全に暮らせる地域づくり)

7,500万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■河川改修事業 継続的に進めている浸水対策事業として、鞭谷川（石川地区）、明石川（明石地区）、根曽川（金屋地区）等の河川改修工事等を実施する他、三河内地区の奥山川流域の浸水対策に係る現地測量を行う。 ・測量委託料、調査委託料 ・水路等整備工事費	800 6,700	建設課

消防施設等整備事業(②安心・安全に暮らせる地域づくり)

1億2,622万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■消防施設等整備事業 消防団第2分団の車庫詰所の新築工事の他、消防指令センターの共同運用に向けた火災サイレン設備整備工事、第4分団の小型動力ポンプ付積載車の更新を行う。 ・消防団第2分団車庫詰所新築工事 ・火災サイレン設備整備工事 ・消火栓新設工事 ・小型動力ポンプ付積載車購入（第4分団）	10,792 604 176 1,050	防災安全課 (一部府補助金)

令和5年度主要事業

町道維持補修事業・道路新設改良事業(②安心・安全に暮らせる地域づくり・③快適で暮らしやすい生活環境づくり)

1億421万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■町道維持補修事業 町道加悦黒見山線（金屋地区）、岩屋奥地線（岩屋地区）等の修繕工事を行うほか、橋りょう長寿命化事業として、四辻加悦駅線の八幡橋、八幡小橋の補修工事を行う。	5,563	建設課 (国：55%)
継続	■道路新設改良事業 町道上鉢屋敷線（石田地区）、男山線（男山地区）、四辻中縄線（上山田地区）の側溝改良工事のほか、幾地旧府道線（四辻地区）、山手線（弓木区）、清水谷線（東町地区）など通学路の整備を行う。	4,858	建設課 (国：61%)

地域内公共交通確保維持事業

(③快適で暮らしやすい生活環境づくり)

900万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	町営バスを継続して運行するが、超高齢化社会に対応した移動手段の確保が喫緊の課題となっており、与謝野町地域公共交通会議での議論を加速化させ、需要に応じた、より便利で持続可能な新たな公共交通の実現を目指す。 ・町営バス運行委託料	900	企画財政課

令和5年度主要事業

水道施設耐震化事業・下水道面整備事業

((②安心・安全に暮らせる地域づくり・③快適で暮らしやすい生活環境づくり))

6億480万円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	○水道事業会計 ■水道施設耐震化事業等 基幹管路の耐震化事業として、府道網野岩滝線舗装本復旧（男山地区）、石川第2送水管耐震工事（石川地区）、与謝浄水場導水管耐震化（滝地区）、配水管新設工事（算所地区）を行う。	7,180	上下水道課
継続	■水道施設機械施設等更新事業 浄水場等の機械設備の更新を行う。	314	上下水道課
継続	○下水道事業会計 ■下水道面整備事業等 下水道面整備事業として、石川地区の面整備を行う。（最終年度） 公共樹新設事業として、公共樹の設置を行う。	5,500	上下水道課
継続	■流域下水道事業建設負担金・排水負担金 下水の処理を行っている京都府宮津湾流域下水道事業の施設更新等に係る負担金と下水の処理にかかった汚水処理費に対する負担金。	47,486	上下水道課

令和5年度主要事業

(分野7)住民が主人公となるまち

地域協働推進事業

((①多様な主体による協働のまちづくりの推進))

912万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規・継続	「共助（地域の課題を地域に住む人たちが解決する地域）」を「公が支える」仕組みを構築し、多様な主体による協働のまちづくりを推進する。 (1)住民・地域・行政との対話による協働のまちづくりに関する指針（仮称）の策定 (2)地域の担い手養成講座 (3)コミュニティ補助金	13 70 829	企画財政課

よさの未来会議事業

((①多様な主体による協働のまちづくりの推進))

46万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	第2次与謝野町総合計画後期基本計画策定過程で進めてきたタウンミーティング「よさの未来会議」を発展させ、住民の意見聴取にとどまらず、まちづくりの担い手が生まれたり、育まれたり、また実践者同士がつながることのできる「場づくり」を、住民とともに実施。	46	企画財政課

令和5年度主要事業

人権啓発事業(②みんなが互いに認め合う風土づくり)			114万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■社会的弱者に対する総合的支援 いわゆる社会的弱者といわれる方々に対して、与謝野町として総合的な取り組み、支援ができないか関係課でプロジェクトチームを組織。人権講演会の開催、先進地の視察、社会的マイノリティに対するアンケート調査等を実施する。	114	住民環境課、福祉課、社会教育課

民間複業人材の活用(職員研修事業) (③未来を見据えた行財政運営)			152万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	複雑化する行政課題に対応するため、専門性の高い業務領域に対し、課題解決をしていくための専門人材確保を目的に、全国から専門人材を公募し、政策的かつ専門性の高い業務に対し、行政課題の解決に必要な専門スキルに加え、民間の知見を活かした政策形成に対する助言の機会を創出し、そのノウハウを組織内で共有・蓄積するとともに、課題解決のための政策立案とこれを推進する職員の人材育成を目指します。	152	総務課

令和5年度主要事業

コンビニ交付の実現(③未来を見据えた行財政運営)			727万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	住民の多様な生活スタイルに応じた対応が可能となるよう、コンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機で、マイナンバーカードを使って住民票の写しと印鑑登録証明書を取得できるシステムを導入。	727	企画財政課 (国：1/2 (一部経費を除く))

京都府北部地域連携都市圏形成推進事業 (③未来を見据えた行財政運営)			204万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	京都府北部5市2町圏域において、中核市と同程度の都市機能を維持できるよう、「圏域全体における地域循環型の経済成長」「高次の都市機能の確保」「生活関連機能の向上」の実行のため、相互補完型連携(水平連携)を推進する。 ■6つ分野に専門部会を設置し、連携事業を展開 主な事業：産業(合同企業説明会)、観光・交通(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)、教育(北近畿コラボスペース)、移住・定住(民間プレイヤープロジェクト)、環境・防災(防災・減災研修)、行政運営(地域の未来予測に基づく広域連携に向けた調査)	204	企画財政課 (一部国：地方創生)

令和5年度主要事業

減債基金・公共施設総合管理基金への積立 (③未来を見据えた行財政運営)

1億3,000万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	減債基金に定期的に積立を行い、将来減債基金を活用し、繰上償還を実施することで、18%に迫る実質公債費比率の上昇を抑えるとともに、公共施設マネジメントを粛々と実現していくために、公共施設総合管理基金への積立を行う。 減債基金積立金 公共施設総合管理基金積立金	10,000 3,000	企画財政課

広報・広聴事業

(④見える・聞こえる・言えるまちづくり)

1,052万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	■ 与謝野町公式LINEアカウントの開設 速やかに町政・防災に関する情報の発信、また町民が欲しい情報を届けることを目的に公式LINEアカウントを開設する。 ■ タブレット端末を活用した情報発信体制等の整備 組織的なデジタル化を推進するため、SNS情報発信・LINE連絡共有・スケジュール確認等を組織的に実施できるようタブレット端末を導入する。	314	企画財政課

令和5年度機構改革に伴う組織の重点

令和5年度からの機構改革により、各課の新設部署が担う主な施策は下記のとおりです。

総務課

- 防災危機管理室
 - (分野6施策②) 安心安全に暮らせる地域づくり
- 財産活用契約室
 - (分野7施策③) 未来を見据えた行財政運営
- 秘書広報係
 - (分野7施策④) 見える・聞こえる・言えるまちづくり

企画財政課

- 地域協働係
 - (分野7施策①) 多様な主体による協働のまちづくりの推進

令和5年度機構改革に伴う組織の重点

住民税務課

- 人権政策推進係
 - （分野7施策②）みんなが互いに認め合う風土づくり

農林環境課

- 地球温暖化対策室
 - （分野6施策①）地域からはじめる地球にやさしい環境づくり

資料編

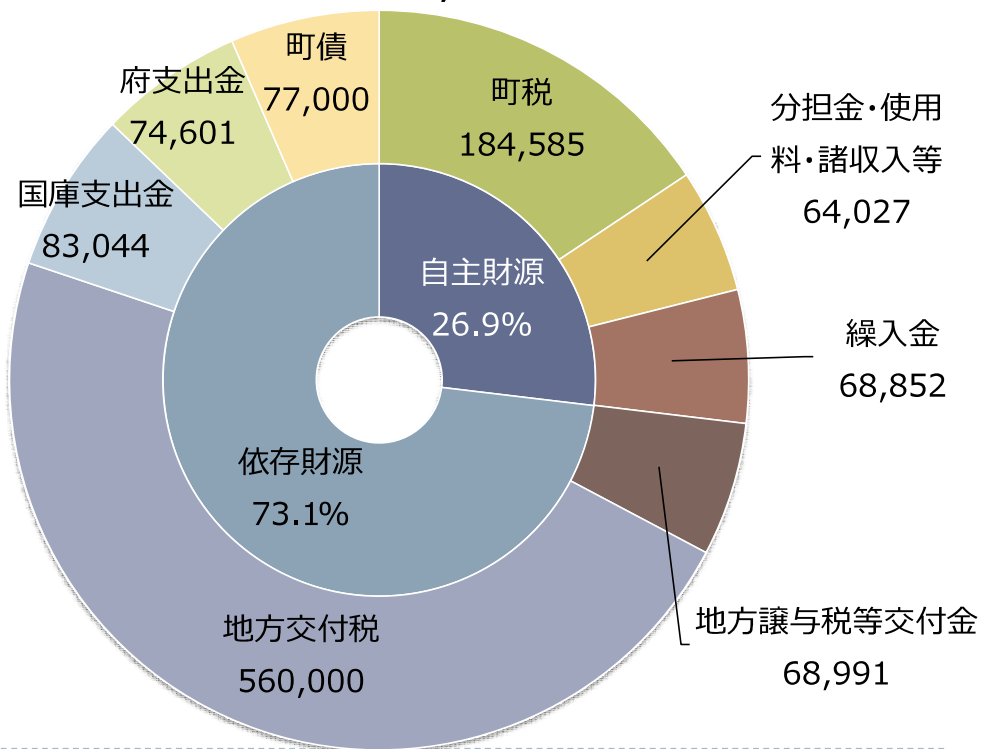
資料編

<令和5年度一般会計歳入 性質別内訳>

歳入総額：118億1,100万円

単位：万円

前年度比較	
(R4.6月補正後額との比較)	
町税	+1.2%
分担金・使用料・諸収入等	+5.7%
繰入金	+10.8%
地方譲与税等交付金	+7.4%
地方交付税	+2.8%
国庫支出金	▲7.5%
府支出金	▲36.5%
町債	+16.6%



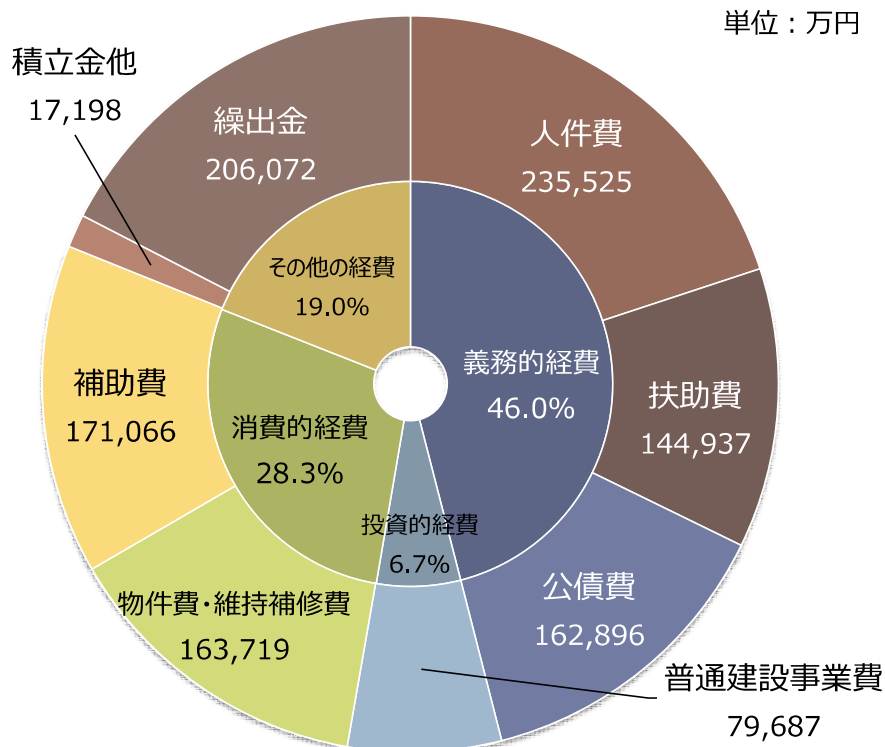
資料編

<令和5年度一般会計歳出 性質別内訳>

歳出総額：118億1,100万円

単位：万円

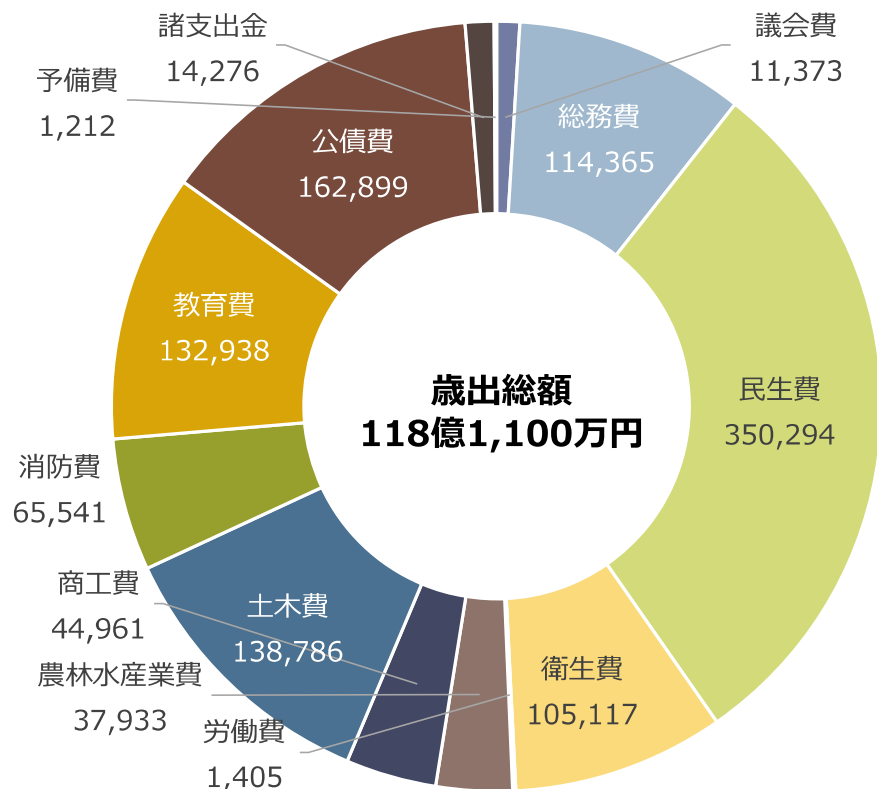
前年度比較	
(R4.6月補正後額との比較)	
人件費	▲1.2%
扶助費	+5.0%
公債費	▲2.1%
普通建設事業費	▲0.5%
物件費・維持補修費	+2.8%
補助費	▲11.6%
積立金他	+651.1%
繰出金	+0.5%



資料編

＜令和5年度一般会計歳出 目的別内訳＞

前年度比較 (R4.6月補正後額との比較)		
議 会 費	▲ 0.7%	
総 務 費	▲ 0.3%	
民 生 費	▲ 5.6%	
衛 生 費	▲ 6.7%	
労 働 費	+ 2.5%	
農 林 水 産 業 費	▲41.5%	
商 工 費	+ 10.2%	
土 木 費	▲ 0.9%	
消 防 費	+ 10.1%	
教 育 費	+ 31.1%	
公 債 費	▲ 2.1%	
諸 支 出 金	+651.0%	
予 備 費	▲12.3%	



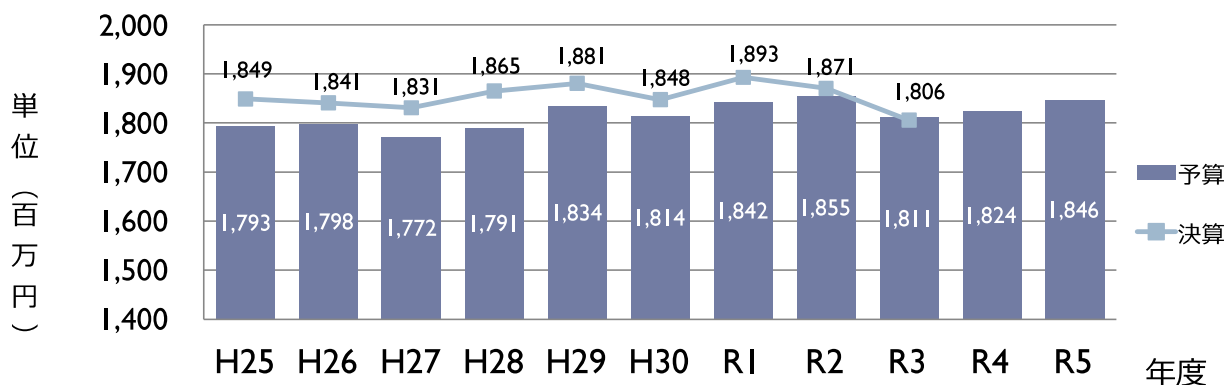
資料編

＜町税の状況＞

▶ 町税総額 18億4,585万円

対前年度：2,217万円増（+1.2%）

税目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減率 (%)
町民税	8億4,703万円	8億2,527万円	2.6
固定資産税	7億9,052万円	7億8,270万円	1.0
軽自動車税	8,929万円	9,071万円	▲1.6
町たばこ税	1億1,900万円	1億2,500万円	▲4.8
合 計	18億4,585万円	18億2,368万円	1.2



資料編

＜町税の状況（前年度比較）＞

■町民税

町民税内訳		令和5年度予算	令和4年度予算	増減率(%)
個人	所得割	7億2,500万円	7億1,500万円	1.4
	均等割	3,400万円	3,500万円	2.9
	滞納繰越分	520万円	470万円	10.6
法人	法人税割	4,500万円	3,400万円	32.4
	法人均等割	3,734万円	3,631万円	2.8
	滞納繰越分	50万円	26万円	92.3
合計		8億4,703万円	8億2,527万円	2.6

■固定資産税

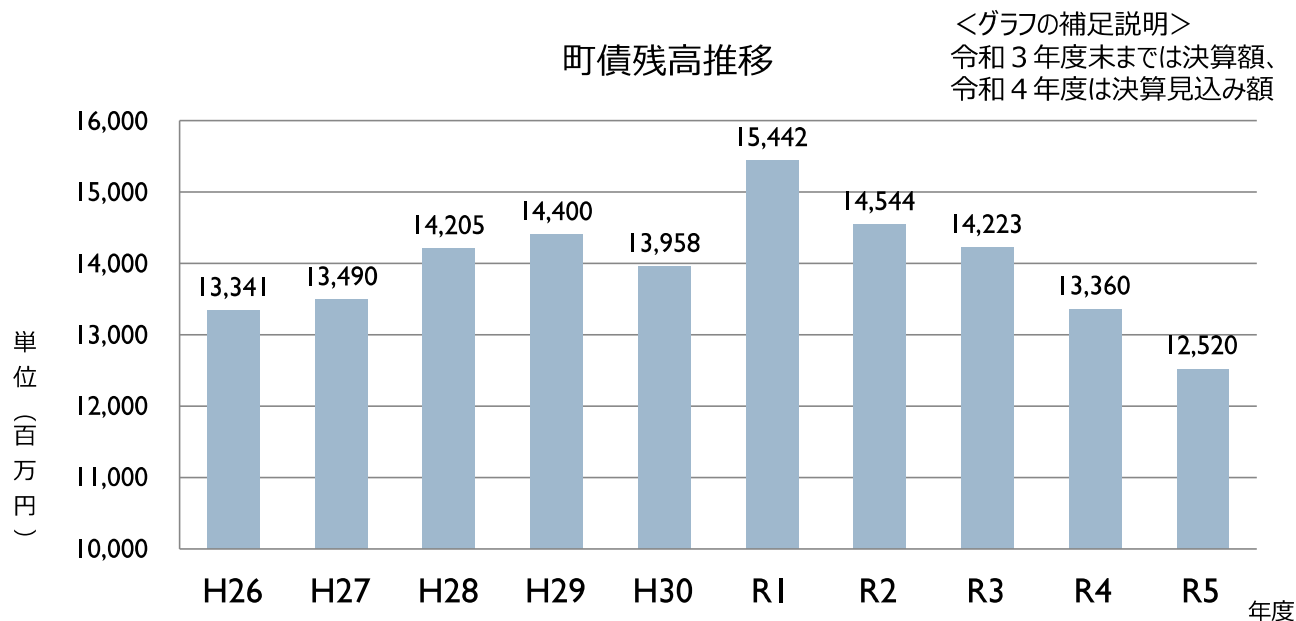
固定資産税内訳		令和5年度予算	令和4年度予算	増減率(%)
土地		2億6,800万円	2億6,700万円	0.4
家屋		3億9,600万円	3億8,700万円	2.3
償却資産		1億600万円	1億900万円	▲2.8
滞納繰越分		697万円	615万円	13.3
固有資産等所在市町村交付金		1,355万円	1,355万円	-
合計		7億9,052万円	7億8,270万円	1.0

資料編

＜町債の状況（一般会計）＞

▶ **令和5年度末町債現在高見込み 125億2,027万円**

対前年度：8億726万円減（▲6.1%）



資料編

＜基金取り崩しによる財源調整＞

➡ 当初予算において「財政調整基金」 5 億 1, 0 0 0 万円を繰り入れ財源調整。
(対前年度6月補正後額：1 億 2 0 0 万円増)

令和5年度は、財源補てんとしての繰入3億8,000万円に加え、政策的に減債基金を1億円、公共施設総合管理基金を3,000万円を財政調整基金から繰り入れて積み立てることとしているため、財政調整基金合計5億1,000万円を繰り入れることとしている。

決算時には歳出抑制に取り組み、取崩しゼロ、さらには基金の積み増しを目指す。

過去に決算で財政調整基金を取り崩したのは平成29、30年度、令和2年度の3回。

当初予算編成時の財政調整基金繰入額推移

単位：百万円

基金名	H 26 年度 ●	H 27 年度	H 28 年度	H 29 年度	H 30 年度 ●	R 元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度 ●	R 5 年度
財政調整基金	463	465	479	528	509	463	590	445	408	510
決算取崩額	0	0	0	200	100	0	170	0	100	-

※財政調整基金欄の●の年度は6月補正後額

※決算取崩額欄の令和4年度は決算見込み額

資料編

＜基金の状況（財政調整基金・減債基金）＞

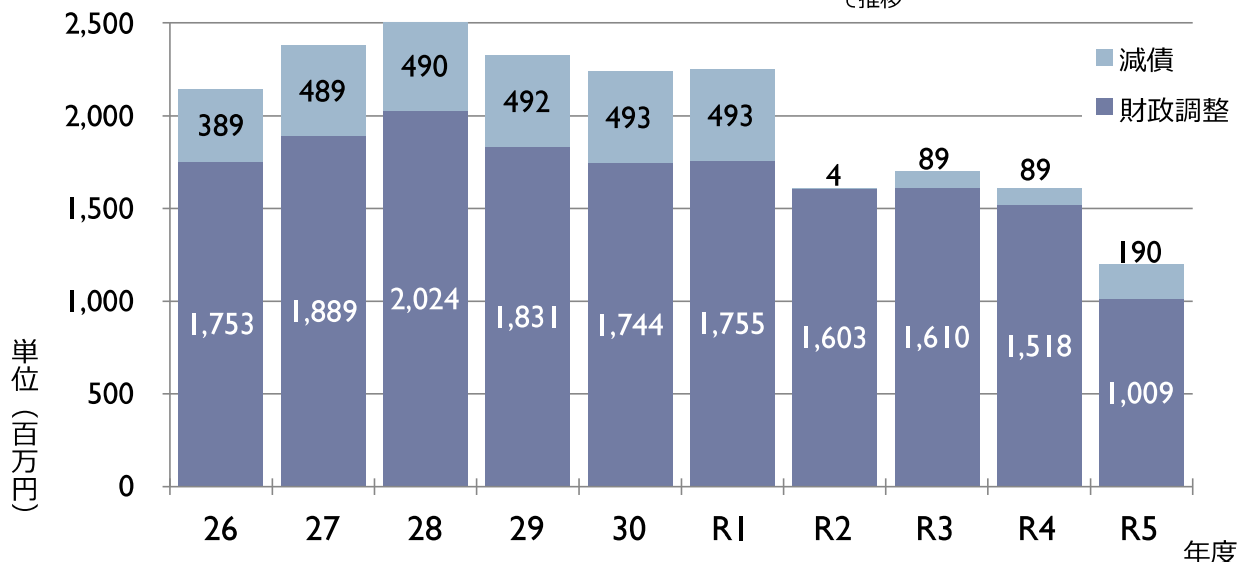
令和5年度末財政調整基金及び減債基金現在高見込み

(令和5年度当初予算の基金繰入後額)

1 1 億 9, 8 6 4 万円

＜グラフの補足説明＞

・令和3年度までは決算額、令和4年度は決算見込額、令和5年度は当初予算繰入後見込額で推移



資料編

＜普通建設事業の状況（一般会計）＞

▶ 令和５年度普通建設事業 7億9,687万円

・令和４年度６月補正後予算との比較：３９０万円の減（▲０．５％）

【令和５年度実施予定の主な普通建設事業】

単位：万円

事業名	事業費	主 な 内 容	担当課
クアハウス岩滝管理運営事業	3,499	設計委託料、監理委託料、クアハウス岩滝維持補修工事費	観光交流課
加悦双峰公園管理運営事業	2,580	観光施設整備工事費	観光交流課
道路維持管理事業	4,550	道路維持工事費、設計委託料、橋りょう補修工事費	建設課
道路新設改良事業	4,630	町道改良工事費、通学路等整備工事費	建設課
河川改修事業	7,500	設計委託料、調査委託料、水路等整備工事費	建設課
町営住宅維持管理事業	1,550	設計監理委託料、町営住宅維持管理補修工事費、公営住宅解体工事費	建設課
消防施設等整備事業	12,610	消防団第２分団車庫詰所建設工事関連経費（監理委託料、建設工事費）、消防小型ポンプ付積載車購入費	防災安全課
小学校施設整備事業	4,063	設計委託料、監理委託料、三河内小屋根防水工事費・加悦小学校床修繕工事費他	学校教育課
屋外体育施設管理運営事業	7,560	監理委託料、城山公園テニスコート照明改修工事費	社会教育課
学校給食センター施設整備事業	24,400	旧岩屋小学校解体工事設計・監理委託料・解体工事費、給食センター新築工事設計委託料	学校教育課

※普通建設事業費は、道路・学校・公園などの公共施設の建設費や設計及び監理委託料、用地取得費等の経費。